

# こども・若者の意識と生活に関する調査 報告書

令和5年3月

内閣府政策統括官（政策調整担当）



## 第1部 調査の概要

### 第1章 調査設計

1. 調査目的	1
2. 調査仕様	1
(1) 調査地域	1
(2) 調査対象者と標本の大きさ	1
(3) 調査事項	1
(4) 調査方法	1
(5) 調査期間	1
(6) サンプルング方法	1
(7) 有効回収数	2
(8) 調査委託機関	3
(9) 企画分析会議	3
(10) 本報告書を読む際の留意点	3

### 第2章 対象者の基本属性

1. 10歳～14歳対象調査	5
(1) 性別 (F 1)	5
(2) 年齢 (F 2)	5
(3) 同居者 (F 3)	5
(4) 在学校 (F 4)	5
2. 15歳～39歳対象調査	6
(1) 性別 (F 1)	6
(2) 年齢 (F 2)	6
(3) 婚姻状況 (F 3)	6
(4) 同居者 (F 4)	6
(5) 主に生計を支えている人 (F 5 (1))	6
(6) 主に生計を支えている人の主な収入源 (F 5 (2))	7
(7) 暮らし向き (F 6)	7
(8) 最終学歴 (F 7)	7
(9) 現在の仕事 (F 8)	7
(10) 就業経験 (F 9)	7
3. 40歳～69歳対象調査	8
(1) 性別 (F 1)	8
(2) 年齢 (F 2)	8
(3) 婚姻状況 (F 3)	8
(4) 同居者 (F 4)	8
(5) 主に生計を支えている人 (F 5 (1))	9
(6) 主に生計を支えている人の主な収入源 (F 5 (2))	9
(7) 暮らし向き (F 6)	9
(8) 最終学歴 (F 7)	9
(9) 現在の仕事 (F 8)	9
(10) 就業経験 (F 9)	9

## 第2部 調査結果の概要 I

### 第1章 10歳～14歳対象調査

1. 人生観・充実度	11
（1）自己認識（問1）	11
（2）今の幸福感（問2）	14
（3）居場所（問3）	15
2. 人とのつながり	19
（1）孤独感（間接質問）（問4-1）	19
（2）孤独感（直接質問）（問4-2）	20
3. 他者との関わり方	21
（1）家族・親族との関わり方（問5）	21
（2）学校で出会った友人との関わり方（問6）	23
（3）地域の人との関わり方（問7）	25
（4）インターネット上での他者との関わり方（問8）	27
（5）他者との付き合い方（問9）	29
4. 社会参加	30
（1）社会貢献への意欲（問10）	30
5. 将来像	31
（1）将来への希望（問11）	31
（2）将来のイメージ（問12）	32
6. 普段の活動	39
（1）家でよくしていること（問13）	39
7. 外出状況	40
（1）普段の外出頻度（問14）	40
（2）現在の外出状況になってからの期間（問15）	41
（3）現在の外出状況になった年齢（問16）	42
（4）現在の外出状況になった理由（問17）	43
（5）家族以外との会話の状況（問18）	45
8. ものがとがうまくいかず落ち込んだ経験	46
（1）落ち込んだ経験（問19）	46
（2）落ち込んだ状態から元に戻った経験（問20）	47
（3）落ち込んだ状態から元に戻ったきっかけ（問21）	48
9. 相談・支援	49
（1）落ち込んだときの相談相手（問22）	49
（2）相談しようと思わない理由（問23）	51
（3）相談場所の認知度（問24）	52

### 第2章 15歳～39歳対象調査

1. 人生観・充実度	53
（1）自己認識（問1）	53
（2）今の幸福感（問2）	62
（3）居場所（問3）	63
2. 人とのつながり	67
（1）孤独感（間接質問）（問4-1）	67
（2）孤独感（直接質問）（問4-2）	68

3. 他者との関わり方	69
(1) 家族・親族との関わり方 (問 5)	69
(2) 学校で出会った友人との関わり方 (問 6)	73
(3) 職場・アルバイト関係の人との関わり方 (問 7)	77
(4) 地域の人との関わり方 (問 8)	81
(5) インターネット上での他者との関わり方 (問 9)	85
(6) 他者との付き合い方 (問 10)	89
4. 社会参加	94
(1) 社会貢献への意欲 (問 11)	94
5. 将来像	95
(1) 将来への希望 (問 12)	95
(2) ポスト青年期の自己像 (問 13)	96
6. 普段の活動	103
(1) 家でよくしていること (問 14)	103
7. 外出状況	105
(1) 普段の外出頻度 (問 15)	105
(2) 現在の外出状況になってからの期間 (問 16)	106
(3) 現在の外出状況になった年齢 (問 17)	107
(4) 現在の外出状況になった理由 (問 18)	108
(5) 家族以外との会話の状況 (問 19)	111
8. 困難に直面した経験	112
(1) 困難に直面した経験 (問 20)	112
(2) 困難に直面した原因 (問 21)	113
(3) 困難な状態から改善した経験 (問 22)	118
(4) 困難な状態から改善したきっかけ (問 23)	119
9. 相談・支援	120
(1) 相談先に求めること (問 24)	120
(2) 相談したくないと思う理由 (問 25)	122
(3) 育成支援機関等の認知度 (問 26)	124
(4) 育成支援機関等の利用経験 (問 27)	126
(5) 育成支援機関等の利用意向 (問 28)	127
第3章 40歳～69歳対象調査	
1. 普段の活動	128
(1) 家でよくしていること (問 14)	128
2. 外出状況	130
(1) 普段の外出頻度 (問 15)	130
(2) 現在の外出状況になってからの期間 (問 16)	131
(3) 現在の外出状況になった年齢 (問 17)	132
(4) 現在の外出状況になった理由 (問 18)	133
(5) 家族以外との会話の状況 (問 19)	136
3. 困難に直面した経験	137
(1) 困難に直面した経験 (問 20)	137
(2) 困難に直面した原因 (問 21)	138
(3) 困難な状態から改善した経験 (問 22)	143
(4) 困難な状態から改善したきっかけ (問 23)	144

4. 相談・支援	145
（1）相談先に求めること（問 24）	145
（2）相談したくないと思う理由（問 25）	147
（3）育成支援機関等の認知度（問 26）	149
（4）育成支援機関等の利用経験（問 27）	151
（5）育成支援機関等の利用意向（問 28）	152

## 第3部 調査結果の概要Ⅱ

### 第1章 こども・若者の意識

1. クロス集計結果	153
（1）場ごとの認識	153
（2）場の性質及び数と自己認識との関係	154
（3）「安心できる場所」の数と支援に関する経験や意向等との関係	159
（4）現在に関する自己認識	160
（5）将来に関する自己認識	161

### 第2章 ひきこもりに関する状況等

1. 定義	162
（1）広義のひきこもり群	162
（2）外出頻度の低いこども群	165
2. クロス集計結果	166
（1）広義のひきこもり群（15歳～39歳対象調査）	166
（2）広義のひきこもり群（40歳～69歳対象調査）	184
（3）外出頻度の低いこども群（10歳～14歳対象調査）	191

### 第4部 調査票（単純集計結果付）

1. 10歳～14歳対象調査票	201
2. 15歳～39歳対象調査票	213
3. 40歳～69歳対象調査票	230